

大 銀 杏

学校だより NO. 2
令和2年 5月11日
新宿区立牛込第三中学校

<http://www.shinjuku.ed.jp/jh-ushigome3>

前を向いて準備を 再開・再会に向けて

校長 伊 藤 裕 一

「桜」から「新緑」へ、いつの間にか晩春となり、初夏の匂いがしてきました。確実に季節が移り、時が過ぎていきます。4月、みなさんに「入学おめでとう、進級おめでとう」の気持ちを伝える間もなく、3月からの臨時休校の延長が決まり、未曾有の2ヶ月を過ごした生徒のみなさん…ここでまた、再延長の運命を受け入れざるを得ない状況となっています。東京都の罹患者の状況は確実に減少傾向を示してきていますが、見えざる敵との戦いは決して終わったわけではなく、乗り越える壁も依然として陰しく私たちの前に立ちはだかっています。あと少し「我慢」です。

この4月、君たちのことが本当に心配でした。3月2日から始まった臨時休校、再開が期待された3月末からの状況悪化…延長されたこの1ヶ月、君たちの「徳（心）」「知（学習）」「体（健康）」を本当に心配していました。その心配は3月と比較にならないくらい大きいものでした。3月の臨時休校期間は、そこまで一緒に過ごした月日が基盤にあります。すべてを計算通りに予見することなどはできませんが、「本校の生徒なら、このラインでの生活はしてくれているだろう」「ここまでは我慢の時を過ごしてくれるだろう」という信頼と想いがありました。その想いに応えてくれた生徒、特に卒業した3年生には、その我慢の分、辛かった分を「心を込めた卒業式」で応えようと努めました。しかし、この4月は予想がつかない…新入生は名前と顔を一致させる時間もなく、2・3年生も新しいクラスの仲間と絆を結ぶ間もなく…一人一人の所属感が薄い中での臨時休校、どんな反応が起きるのか、私たち教職員も手探りでした。命と健康を最優先に考えることはもちろんですが、社会全体が不安定な中でいかに支えていくか、大きな課題を背負った1ヶ月、君たちは本当に頑張りました。そして、再延長…みんなで力を合わせて歩み始める時まで、あと少しの「辛抱」です。

私の令和2年度・学校経営のグランドデザインは、

「笑顔あふれる牛込第三中学校」を創る

－ 生徒主体の柔軟な教育活動の展開 「我慢の時」を『輝く未来』に －

です。校長として4年目となりますが、目指すものは変わらず「笑顔あふれる牛込第三中学校」であり、永遠のテーマだと思っています。いつもその年の想いを込めて表現しているのが、「副題」です。

「生徒主体」という4文字に2つの想いを込めました。1つは、我慢をしてきた生徒に一つでも多くのプラスを与える「生徒を中心に考える」という想い、もう一つは、「生徒が主体的に作り上げる」という成長への願い…この2つを通して『輝く未来』につなげていく…その姿が『笑顔あふれる牛込第三中学校』だと考えています。

とは言え、日本を含め、世界的にも、まだまだ予断を許さない状況です。行事等、皆さんが楽しみにしていたことも変更せざるを得ません。しかし、これまでの我慢・辛抱を実りにつなげるためには、笑顔の明日を迎えるためには、『前を見る』ことです。この延長期間を「再開」そして「再会」に向けた『前進のための準備の時』と考えましょう。生徒のみなさんにとっては「かけがえのない一年、やり直しができない一年」であることも承知しています。その上で、牛込第三中学校として、生徒一人一人の最善を考え、みなさんの成長につなげていきます。

「アンネの日記」の著者、アンネ・フランクさんが残した言葉です。

希望があるところに人生もある。希望が新しい勇気をもたらし、強い気持ちにしてくれる。

しっかりと自分の夢・希望をもって、前に進むための準備をしましょう。お互いに支え合いながら。

令和2年度を再確認 先を予測しながら歩みを進めていきましょう

年間行事予定を配る間もなく始まった「臨時休校」ですが、学校としては、各教科の指導計画や行事等、すべてを組み直しに追われた4月になりました。この先、まだ変更せざるを得ない現況ですが、現時点での予定をお知らせいたします。

教科指導

詳しくは、後日、あらためてお伝えいたしますが、3月からの臨時休校による授業ができなかった内容を含め、6月から授業開始として組み直します。
今後、夏季休業期間での授業実施を含め、新宿区教育委員会の方針の下、学習の遅れを取り戻すためのいろいろな対応が必要な状況です。

行事等

学校だより・4月号でその方向性をお伝えしましたが、この時点での変更（延期・中止）をお伝えします。詳しくは、行事予定表でご確認ください。

[1学期に予定されていた行事の変更]

- 入学式(4/7) → 学校再開後に実施
- 運動会(5/16) → 中止 臨時休校が実施予定日を越えた延長となったことや5月下旬より学校の擁壁工事が始まり校庭の一部が使えなくなること、また、授業時数の確保や進路選択との関連で2学期以降に移すことが難しいため
- 1年・移動教室(6/8～10) → 中止 女神湖施設の改修や小学校使用期間の関係から、秋に移すのは難しいため。ただし、感染症の状況によっては、時期を考慮し、代替えの行事を考えていきます。
- 2年・鎌倉校外学習(6/4) → 11月6日(金)に実施
- 3年・修学旅行(5/29～31) → 9月10日(木)～12日(土)に実施
- 伝統芸能鑑賞教室(6/22) → 中止 今年度は「能・狂言」の鑑賞でしたが、予定していた国立能楽堂が公演中止を決定したため。

[2・3学期の主な行事] ※5/11現在（上記の移動した行事も記載）

2学期		3学期	
9/1～3	職場体験(2年)	1/14～17	スキー教室(2年)
9/10～12	修学旅行(3年)	1/26・27	都立推薦入試
9/30	音楽鑑賞教室(2年)	1/29・30	展示発表会
10/5～10	学校公開週間	1/30	道徳授業地区公開講座
10/24	学芸発表会	2/21	都立一般入試
11/6	鎌倉校外学習(2年)	3/4	新入生体験入学
11/7	避難所開設訓練(1年)	3/19	卒業式
12/25	2学期終業式	3/25	令和2年度修了式



現時点では上記の通りです。例年通りに進めることができないのは大変残念ですが、新型コロナウイルス感染症の今後の状況によっては、2学期以降も影響が出る（変更がある）ことが考えられます。「そうならないための今の努力」と考えて頑張りましょう。

と先を見て、一年間を考えると、

1学期 再スタート・挽回	○中学生としての生活リズムを取り戻し、学年・学級の基盤を固める。 ○遅れた学習を取り戻すと同時に、2学期の行事の準備を進めていく。
2学期 向上・充実	○1学期を土台とし、自分を伸ばし、高めていく。[3年・進路選択] ○多くの行事に主体的に取り組み、充実させ、実りにつなげていく。
3学期 まとめ・次への準備	○まとめの学期として、一日一日を大切に過ごし、充実させる。 ○自己の成長と課題を確認し、次のステップにつなげていく。

(1) 生徒像 [徳・知・体]をバランスよく有する生徒を育成する

- 「豊かな心＝徳」
 - ・自他の生命と人権を尊重できる生徒
 - ・基本的生活習慣を身に付けた生徒(あいさつ、言葉遣い、身だしなみ)
 - ・善悪の判断ができ、規範意識が高い生徒
 - ・他者への思いやりと感謝の気持ちをもてる生徒
 - ・地域への愛着と参画意識をもつ生徒
- 「確かな学力＝知」
 - ・基礎的・基本的な知識・技能を習得している生徒
 - ・思考力・判断力・表現力等を身に付け、その力を使え表現できる生徒
 - ・自分に自信をもち、目標の達成に向け努力できる生徒
 - ・主体的に学習に取り組む生徒
- 「健やかな体＝体」
 - ・すべての活動の基盤として、たくましく生きるための体力がある生徒

(2) 教職員像 [生徒一人一人を大切にし、生徒の成長に喜びを感じる教職員]

- 教育への高い意欲をもち、常に指導力向上に努め、お互いに高め合える教職員
- 危機管理意識の高い教職員 ○組織の一員として先を見通した行動ができる教職員

(3) 学校像 [生徒・保護者・地域から信頼される学校]

- 安全・安心・清潔で、生徒が楽しく登校できる学校 ○規律ある学校(自主自立)
- 日々の地道な教育活動の積み重ねを重視できる学校
- 心をつ一つにして組織力を生かせる学校 ○保護者・地域と協働し、生徒の育成に努める学校

(4) 保護者・地域との関係 ―「地域は教材」「地域は教室」「地域は先生」「地域は家族」「地域は世界への入り口」―

- 学校・保護者・地域の三者で総合的・統括的に生徒の育成を進めていく。

※学校経営計画は、別紙にて、保護者会でお配りします。

－ 令和2年度 地域協働学校運営協議会 －

今年度も地域協働学校の中心となり、地域・保護者・学校を結ぶ「地域協働学校運営協議会」が発足します。学校経営計画の大きな柱となる「生徒・教職員・保護者・地域で創り上げていく牛込三中」の礎となる大事な会ですが、4月に予定していた第1回が開催できず、5月から月1回の開催を基本とし、多くの場面で活動を展開していきます。一年間、よろしくお願いいたします。

以下は、今年度の地域協働学校運営協議会委員の皆様です。〈役職は未定・敬称略〉

メンバ－	飯島 泰文	(同窓会長・箆笥地区青少年育成委員会会長・人権擁護委員)		
	勝部 和彦	(前PTA会長)		
	平尾 博恵	(牛込交通安全協会会長・同窓会副会長)		
	堀 全	(保護司・新宿区更生保護女性会副会長)		
	松野 直行	(細工町清和会副会長)		
	上條 芳樹	(大日本印刷株式会社)		
	竹内 隆	(同窓会幹事)		
	宇野由里子	(民生児童委員・主任児童委員・本校スクールコーディネーター)		
	宮澤 泰正	(PTA会長)		
	高田麻紀子	(PTA副会長)		
	小松 遥	(PTA副会長)		
	伊藤 裕一	(校長)		
	3年：中園 愛美	2年：鈴木 剛史	1年：山本 貴也	以上15名
学 校				
事務局	荒 鋭二	(副校長)		
	沢柳 淳子	(元PTA副会長)		

◆ 5月行事予定表

※（ ）数字は学年、○数字は実施する授業時間を示しています。

日	曜	行 事	給食
1	金	臨時休校期間 ～6日まで	
2	土		
3	日	憲法記念日	
4	月	みどりの日	
5	火	こどもの日	
6	水	振替休日	
7	木	※政府の緊急事態宣言の継続・解除に関する通知が連休中だったため、この2日間は周知・準備の期間として、「臨時休校」となりました。	
8	金		
9	土		
10	日		
11	月	非常事態宣言・延長	
12	火	この学校だよりは、4月下旬に作成し、5月の学校再開時に配布したく修正を重ねてきましたが、非常事態宣言および臨時休校の延長が決まった今、もう一度書き直し、発行にこぎつきました。しかし、先の見通しが立てられない中での作成だったため、十分な検討が進んでいない状況です。 年間行事予定表や6月行事予定表の配布を急ぐことはもちろんですが、今、先ず第一にやるべきことは、『延長された臨時休校期間（5月）に関する支援体制の確立』です。できるだけ早くお示しします。巻頭言でも書かせていただいた通り、この3週間、しっかりと支援し、準備を整え、『再開・再会の6月』を迎えたいと考えています。 その6月、[生徒の安定した学校生活の構築]を最優先事項とした上で、できるだけ早く、保護者会を開催し、学校再開に関するガイドラインや今後の予定をお示ししたいと考えています。急な開催となるかもしれませんが、ご理解・ご協力をお願いいたします。 なお、生徒の健診関係は、すべて2学期以降となりました。	
13	水		
14	木		
15	金		
16	土		
17	日		
18	月		
19	火		
20	水		
21	木		
22	金		
23	土		
24	日		
25	月		
26	火		
27	水		
28	木		
29	金		
30	土		
31	日	5月末までの予定	

大きな行事の変更は、前ページでお伝えした通りですが、6月、例年と違う点は次の通りです。

○当面の間、全校生徒が集まることは避けたいと思います。したがって、全校朝礼・生徒会朝礼は6月は行いません。

○生徒の自立性を育てるために、週1回、「ノーチャイムデー」を設定していますが、今年度は、1年生が中学校の生活リズムに慣れた「7月」から始めます。

地域・保護者の皆様へ

例年、宿泊行事など、大きな行事が組まれる5月ですが、期待された「再スタート」ではなく、厳しい「再延長」の月となりました。厳しいのは、学校・生徒だけでなく、経済の面でも大きな影を落としています。毎年多くの人が移動する（観光に出かける）楽しいG.W.も、当然、様子が違っており、「STAY HOME週間」として、みんなで「我慢・辛抱」するしかありません。

本校では、この1学期、「学習の1学期」と捉えています。この長期にわたる臨時休校、地域・保護者の皆様が気になっている（心配している）ことを、丁寧に、一つ一つ解決しながら、生徒をしっかり支えていきたいと思っています。お力添えをお願いいたします。